

会議結果（要旨）

会 議 名	平成24年度第1回音更町介護保険事業等運営協議会
開 催 日 時	平成24年5月24日（木） 午後7時00分から午後8時20分
開 催 場 所	音更町保健センター 検診室
委 員 出 席 者	森川会長、原田会長代理、河田委員、小幡委員、畠委員、正保委員、藤川委員、清都委員、中塚委員、村橋委員、坂本委員、岡田委員、山田委員
事 務 局 出 席 者	寺山町長、鈴木保健センター事務長、松井高齢者福祉課長、春木高齢者福祉課参事、鈴木高齢者福祉課主幹、原尾成人保健係長、佐藤高齢者福祉係長、佐藤予防調整係長、傳法介護支援係長、平井介護保険係長、杉本高齢者福祉課主任、仁科高齢者福祉課主任、田中高齢者福祉課主事、小川高齢者福祉課主事
議 題 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議題 議案第1号 会長の選出及び会長代理の指名 会議録署名委員の指名 3 報告第1号「第5期おとふけ生きいきプラン21」の概要について 報告第2号 平成24年度音更町介護保険特別会計予算について 議案第2号 地域密着型サービス実施事業者の公募について 4 その他
会 議 資 料	なし
会 議 結 果	<p>議案第1号 会長の選出 森川委員、会長代理の指名 原田委員 会議録署名委員の指名 河田委員、小幡委員</p> <p>議案第2号 原案どおり承認</p>
出された主な意見等	<p>○報告第1号</p> <p>委 員：介護保険制度改正の中で、在宅サービスの充実として、新たに介護と看護をあわせた複合サービスや、24時間巡回型サービスが創設されたが、町の計画では何か盛り込まれているか。</p> <p>事務局：実際にサービスを実施するのは事業者で、町の環境や現状と、事業者の経営がうまく成り立つものになるか、他市町村の例を踏まえて考えていきたい。</p> <p>委 員：3ページの5の（4）に「基本チェックリスト」と「特定高齢者」とあるがどういうものか。防災時に使用できるものか。</p> <p>事務局：「基本チェックリスト」については、65歳以上で介護認定を</p>

	<p>受けておらず、施設等に入所されていない方を対象に生活機能について調査をしたもの。機能低下が見られる方を「特定高齢者」として予防教室の案内をしているが、一人暮らしである等の生活の調査まではできていない。防災については、民生委員等に要援護者のリストを渡してはいるが、漏れなく援護ができているとは言えないのが現状である。</p> <p>○報告第 2 号</p> <p>委員：施設介護サービス給付費が減っているのはなぜか、また減った場合、利用者の負担が大きくなるのではないか。</p> <p>事務局：24年度の介護報酬改定を反映させた結果である。よって利用者負担が大きくなるというわけではない。</p> <p>○議案第 2 号</p> <p>委員：事業者公募の選定基準で、終末期までを見据えたケアについては盛り込まれているか。入所申込をする家族の意見に、体制が整っている安心感を持ちたいというものが挙がっている。</p> <p>事務局：今回公募するサービスの種類がグループホームであり、終末期まで見る事業者は現状いない。ただ、そういうご意見をいただいたことも踏まえて、選定へと進めていけるようにしたい。</p> <p>委員：音更町での介護体制に対する満足度はどうか。</p> <p>事務局：サービス利用者について、施設への申込に対して希望通りに入所できているかという、現状では満足を得られているとは言えない。しかし施設を増やすと介護保険料の負担へ跳ね返るため、この3年間ではグループホーム2箇所という話で進めている。また、事業者の人材について調査はしていないが、求人状況等により、ある程度充足されてきていると考えられる。</p> <p>委員：グループホームには要介護3にならないと入れないという噂があるが、そのようなことはあるのか。</p> <p>事務局：グループホームは、家庭的な雰囲気の中で介護を行い認知症の進行を緩和するものであり、要支援2からが対象である。入所申込をしたときの事業所の空き状況やタイミングにより、要介護3の人が入ることがたまたま多かった等があって、そのような噂が出たのではないだろうか。</p>
お問い合わせ先	保健福祉部地域包括支援センター高齢者福祉課介護保険係 (0155-32-4567)

町ホームページへの掲載	掲載日（平成24年6月26日）
-------------	-----------------